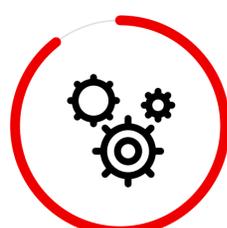


## 業界のトレンド： マルチクラウド・アーキテクチャ

本番アプリケーションに2つ以上のインフラストラクチャ・クラウドを使用している、米国を拠点とする10億ドル規模の企業200社を対象にIDCが調査を行ったところ、結果は以下のようになりました。



**93%**

複数のインフラストラクチャ・クラウドを使用



**81%**

複数のパブリッククラウドと1つ以上のプライベートまたは専用クラウドを使用

IDC Multicloud Management Survey, 2019: Special Study, Doc # US45020919, 2019年4月

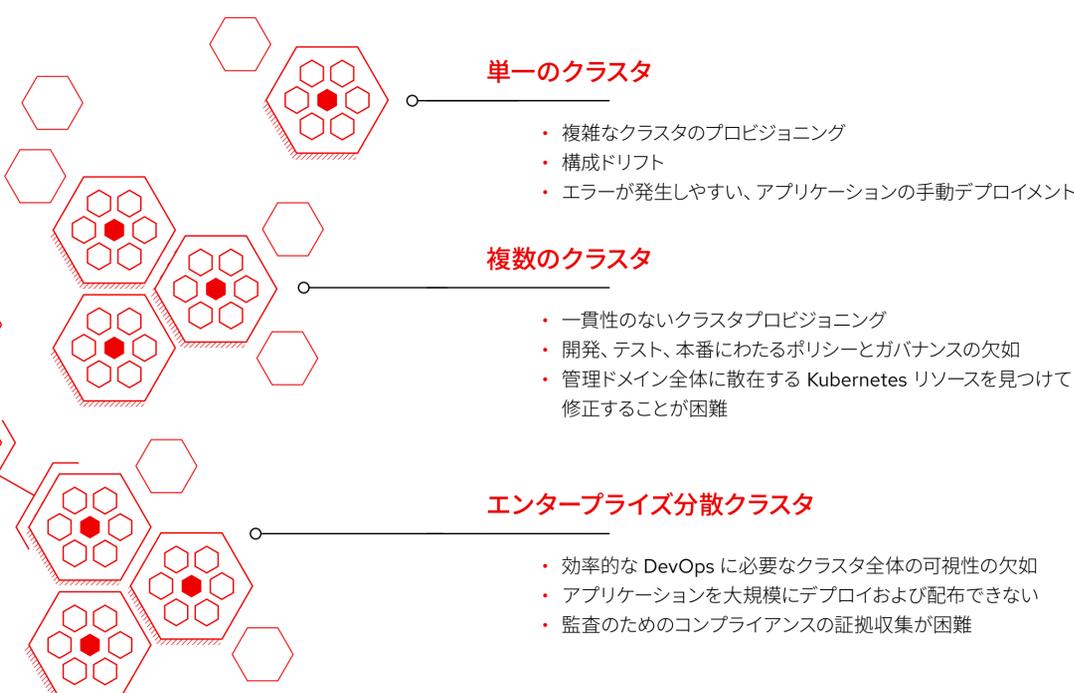
## マルチクラスタへの移行

アプリケーションをモダナイズする取り組みの一環として、組織はマルチクラウド環境やハイブリッドクラウド環境全体に複数のクラスタをデプロイしています。

### 複数のクラスタを使用する目的

-  アプリケーションの可用性を向上させる
-  遅延を削減する
-  業界標準に準拠する
-  データの物理的な保管場所に関するデータレジデンシーのガイドラインに準拠する
-  障害復旧を改善する
-  エッジデプロイメントを促進する

## マルチクラスタ管理における多くの課題



## Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes がお手伝いします

Red Hat® Advanced Cluster Management for Kubernetes は、クラスタとアプリケーションのライフサイクルを管理するためのエンドツーエンドの可視性と制御、および、複数のデータセンターとパブリッククラウドにわたる Kubernetes ドメイン全体のセキュリティとコンプライアンスを提供します。

オンプレミス、ベアメタル、パブリッククラウドにデプロイされた Red Hat OpenShift®、そして Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google、IBM などのパブリッククラウド・プロバイダーによる Kubernetes クラスタを単一のビューで管理できます。

## ユースケース



### 統一されたマルチクラスタのライフサイクル管理

Kubernetes クラスタを確実に、一貫性を保ちながら、大規模に作成、更新、破棄します。



### ポリシーベースのガバナンス、リスク、コンプライアンス

ポリシーを使用して、業界標準に基づくセキュリティ制御の一貫性を自動的に構成および維持します。



### 高度なアプリケーション・ライフサイクル管理

オープンスタンダードを適用し、既存の継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CI/CD) パイプラインとガバナンス制御に統合された配置ポリシーを使用してアプリケーションをデプロイします。

## メリット

- セルフサービス・プロビジョニングにより、開発から本番への移行を迅速化します。
- アプリケーションを自動的に配信するクラスタのセルフサービス・デプロイメントにより、IT部門を解放します。
- レガシーアプリケーションとクラウドネイティブ・アプリケーションを分散クラスタ全体に迅速にデプロイできるため、アプリケーションの可用性が向上します。
- クラスタ全体にわたって一元化されたポリシー適用により、セキュリティ・コンプライアンスを容易にします。
- 統合された管理インターフェースで運用コストを削減します。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes の詳細は、[redhat.com/clustermanagement](https://redhat.com/clustermanagement) をご覧ください。

[詳細はこちら](#)